

事業概略書

事業名	高齢期発達障害者支援における関係機関の役割と地域連携の在り方に関する調査
事業目的	<p>高齢期の発達障害者に関する相談について、発達障害者支援センターだけではなく、高齢者支援機関等にも相談が寄せられている。しかし、各支援機関において支援経験は少なく、模索しながら支援している現状がある。</p> <p>本研究は、高齢期の発達障害者支援について先駆的に実践をしている相談機関の取り組み状況等を明らかにし、高齢期の発達障害者を地域で支える上で必要な関係機関の役割と地域連携等について検討する際の基礎資料を作成することを目的とした。</p>
事業概要	<p>①検討委員会の設置：有識者や発達障害者支援センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の現場で相談にあっている実践者等を検討委員とし、委員会にて調査設計、調査結果の分析等の検討を行った。</p> <p>②ヒアリング調査：令和2年度障害者総合福祉推進事業「発達障害者支援における高齢期支援に関する実態調査」の結果を基に、発達障害者支援センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会、相談支援事業所、行政を対象に、高齢期の発達障害者への支援を他機関と連携して行った事例や連携の現状等について収集した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>高齢期の発達障害者への支援において、それぞれの分野の制度、専門性を活かしつつ、対象者の生活課題を解決するために必要な機関と適宜連携を取りながら支援が行われていた。現状の各機関の役割を果たしつつ、今後、相談事例の蓄積と分野を超えた関係機関間での相談事例の共有を進めることが必要であると考えられた。</p> <p>地域連携の在り方としては、①高齢分野の支援者等への障害者支援機関の役割の周知、②継続的な行政の関わり、③発達障害に関する研修・事例の共有等が必要であると考えられた。</p>
事業主体	<p>郵便番号：370-0865</p> <p>所在地：群馬県高崎市寺尾町 2120-2</p> <p>法人名：独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園</p> <p>電話番号/E-MAIL：027-325-1501（代表） / webmaster@nozomi.go.jp</p>

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。